

一般質問 Q & A



創世会
小沼 秀朗

市内小学校校舎の老朽化等、緊急課題への対応を伺う

Q 建築年数が50年以上経過している校舎の老朽化が進み、市内小学校では外壁の剥離等、緊急対応を要する課題に加え、児童数急増による教室数不足も課題である。学校再配置計画と併せたこれらの課題への今後の対応を伺う。



外壁が剥離する西山口小学校

実情を踏まえ検討

A 緊急の課題については、状況を確認して、早急に対応しなければならぬものは修繕工事により対応します。また、教室が不足する場合は、既存施設の教室改造や、敷地内に教室等を新設し対応します。市内の小中

校の在り方や方針については、長寿命化計画の策定及び小中一貫校や学童保育等も含めた学校施設の複合化など、各地域の実情を踏まえ検討し、来年度から新たな計画を立てていきます。

掛川市の新たな転入人口増加策を伺う

Q 東京女子医科大学では最先端医療であるゲノム医療の研究、診療が進んでいる。県、国ともタイアップし掛川市を学術研究都市として戦略的に進める構想はないか伺う。

研究機関と事業を行う中で模索していく

A 掛川市では、東京女子医科大学に限らず、東北大学、東京工業大学などの高等教育機関との共同研究へ協力してきています。現時点では、学術研究都市の構想はありませんが、最先端の研究機関と事業を行う中で模索していきます。

【その他の質問事項】

・社会的弱者への熱中症予防となる環境整備について



共に創る掛川
富田まゆみ

市民によるシティプロモーションとは

Q シティプロモーションとは、市民が市への愛着心をもち、その魅力を市外の人々に発信することで、交流人口の増加、掛川市への移住定住の促進、産業の活性化に繋げるものである。このシティプロモーションの目的を達成するには、市民のみならずの理解と情報発信が必須である。しかし、多くの市民に理解されていないのが実情である。市民のみならずに知ってもらうための手立てを伺う。

掛川に愛着のある市民を増やしていく

A 市民が掛川を知り、さらに愛着をもってもらうために、これまで、掛川市の良さを伝えるシティプロモーションサイト「掛川物語」の立ち上げや、魅力動画の作成、フィルムコミッション活動、さらには公式フェイスブック

の開設や、シティプロモーション通信の発行、若者子育て世代を意識した広報かけがわの充実などを行ってきました。今後も市民協働会議を中心に、シティプロモーションにできるだけ多くの市民に関わってもらうとともに、まちづくり協議会にアドバイザー等の派遣やシティプロモーション通信をさらに見てもらえるような工夫をするなどして、掛川に愛着を持つ市民を増やしていきます。



シティプロモーションサイト「掛川物語」はこちらから